

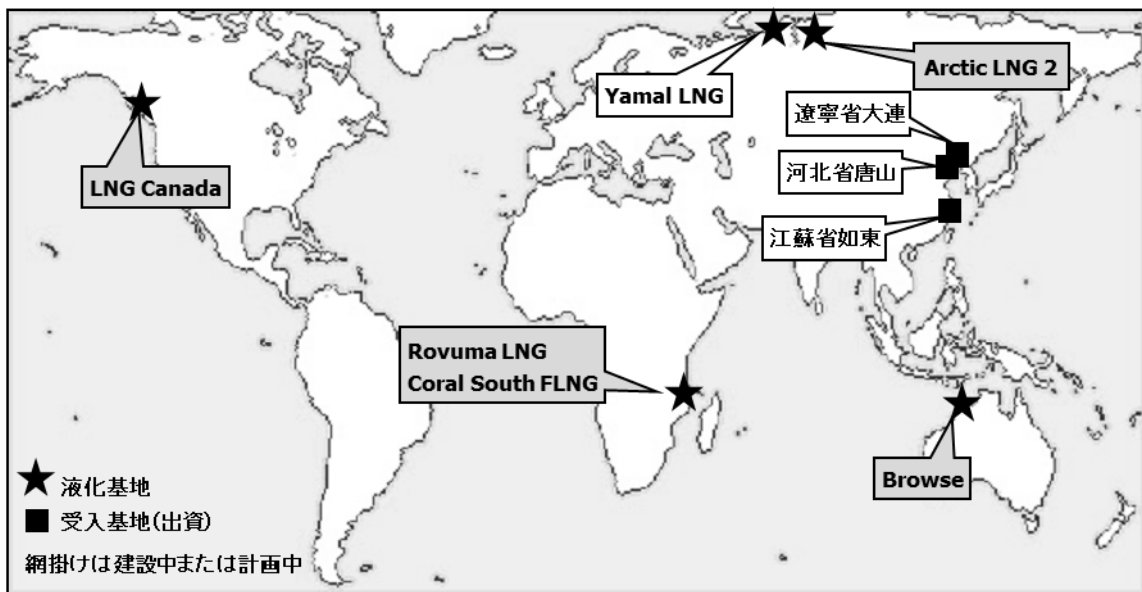
## 14. PetroChina (CNPC グループ)

### (1) 企業概要

PetroChina (中国石油天然気股份有限公司) は、1999 年の CNPC (China National Petroleum Corporation: 中国石油天然気集团公司) の事業再構築に伴い、株式上場を念頭に CNPC の主要事業を子会社化することで設立された企業である。同社の株式は CNPC が 80.41%を保有しており、CNPC グループにおける主力子会社である。

PetroChina は 21 ヶ国以上で石油・ガスの探鉱・生産事業を手掛け、CNPC グループ全体で石油精製、流通、エンジニアリング事業等を行っている。2019 年末時点の確認埋蔵量は、原油が 72.5 億 bbl (前年同期比 5.1%減)、天然ガスが 76.2 Tcf (前年同期比 0.3%減) となっている。また 2019 年の生産量は、原油が 9 億 9930 万 bbl (前年同期比 2.1%増)、天然ガスが 3,908 Bcf (前年同期比 8.3%増)、原油・ガス合算が 14.9 億 bbl (前年同期比 2.3%増) となった。2019 年の売上高は、景気回復、企業改革、コスト削減等により 2 兆 5168 億 1000 万元 (前年同期比 6%増)、純利益は 456 億 8200 万元 (前年同期比 13.9%減) であった。

PetroChina (CNPC) の LNG 液化・受入基地図



### (2) LNG 関連

PetroChina は豪州で Woodside が主導する Browse プロジェクトに参画している。2016 年 3 月、事業環境の悪化を理由に同プロジェクトの開発は中断されたが、2018 年 11 月、North West Shelf 合弁事業者と Browse 合弁事業者との間で、Browse ガス田のガス資源を North West Shelf LNG 基地に供給する旨の基本合意が締結された。最終投資決定は 2023 年

#### IV. 主要企業別 LNG 事業動向

以降を予定している。また、カナダのブリティッシュ・コロンビア州では Shell が推進する LNG Canada プロジェクトに参画している。同プロジェクトは 2016 年 1 月に同州石油・ガス委員会から基地の建設・運営等を承認されたが、同年 7 月、市場環境の変化から最終投資判断 (FID) の延期を発表した。2018 年に入り、中国の LNG 輸入の急増やエネルギー価格の持ち直しからプロジェクト検討が再開され、その後、2018 年 10 月に FID が行われた。2020 年代中頃の稼働開始を予定している。

PetroChina の親会社 CNPC はロシアで Novatek が主導する Yamal LNG プロジェクトに参画しており、2018 年 4 月には Yamal LNG から中国向けとして初めての出荷がされている。さらに、2019 年 4 月、Novatek が第 2 の大型 LNG プロジェクトとして計画中の Arctic LNG 2 プロジェクトにも、CNPC の子会社 CNODC を通じて 10% の出資を行うことで合意した。2019 年 6 月に Novatek と株式売買契約を締結し、2019 年 7 月には 10% 出資分の株式を受領した。モザンビークでは Eni が主導し Rovuma 堆積盆地 Area 4 を原料ガスとする Coral South FLNG プロジェクトに参画しており、2017 年 6 月に FID を行っている。

#### PetroChina (CNPC) が出資する LNG プロジェクト

国名	プロジェクト名 (Train名)	液化能力 (万トン/年)	生産開始	出資者	主要仕向地
オーストラリア	Browse (NWS LNGへの供給を計 画中)	N.A.	2026-2027 (計画中)	Woodside 30.60%, Shell 27.00%, BP 17.33%, MIMIプラウズ(三菱商事 50%, 三井物産 50%) 14.40%, PetroChina 10.67%	N.A.
カナダ	LNG Canada, BC (Train 1,2)	1,400	2020年代中頃 (建設中)	Shell 40%, Petronas 25%, PetroChina 15%, 三菱商事 15%, KOGAS 5%	N.A.
	(Train 3,4)	1,200	計画中	N.A.	N.A.
ロシア	Yamal LNG (Train 1)	550	2017年	JSC Yamal LNG (NOVATEK 50.1%, Total 20%, CNPC 20%, Silk Road Fund 9.9%)	アジア、欧州
	(Train 2)	550	2018年		
	(Train 3)	550	2018年		
	(Train 4)	90	2020年 (建設中)		
	Arctic LNG 2 (Train 1)	660	2023年 (計画中)	Novatek 60%, Total 10%, CNODC (CNPC 子会社) 10%, CNOOC 10%, Japan Arctic LNG 10% (JOGMEC 75%, 三井物産 25%)	アジア、欧州
	(Train 2)	660	2024年 (計画中)		
(Train 3)	660	2026年 (計画中)			
モザンビーク	Coral South FLNG (浮体式)	340	2022年 (建設中)	Mozambique Rovuma Venture(Eni 35.7%, CNPC 28.6%, ExxonMobil 35.7%) 70%, Galp Energia 10%, ENH 10%, KOGAS 10%	N.A.
	Rovuma LNG	1,520	2025年 (計画中)	Mozambique Rovuma Venture(Eni 35.7%, CNPC 28.6%, ExxonMobil 35.7%) 70%, Galp Energia 10%, ENH 10%, KOGAS 10%	欧州・アジア

## PetroChina (CNPC) の LNG 契約

輸出国	プロジェクト	契約期間 (契約年数)	契約数量 (万トン/年)	受渡条件
カタール	Qatargas 2 (Train 5)	2018-2040 年(22年)	340	DES
	Qatargas 4 (Train 7)	2011-2036 年(25年)	300	DES
オーストラリア	Gorgon LNG	2016-2036年 (20年)	200	N.A.
		2016-2036年 (20年)	225	N.A.
ロシア	Yamal LNG	2019-2029年.(20年)	300	DES
パプアニューギニア	PNG LNG	2018-2020年(3年)	45	N.A.
米国	Corpus Christi LNG	2018-2043年(25年)	120	FOB
カナダ	LNG Canada	N.A.	210	FOB

## PetroChina が出資する受入基地

基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
江蘇省如東	中石油江蘇液化天然気有限公司(昆侖能源有限公司 55%, 江蘇省 国信資産管理集团有限公司 10%, 太平洋油気有限公司 (PacificOil&Gas) 35%)	350	2011年
		300	2016年
遼寧省大連	中国石油大連液化天然気有限公司(昆侖能源有限公司75%, 大連港 股份有限公司 20%, 大連市建設投資公司 5%)	300	2011年
		300	2017年
河北省唐山(曹妃甸)	中石油京唐液化天然気有限公司 51%, 北京控股有限公司 29%, 河 北省建設投資公司 20%	350	2013年
		300	2015年

※昆侖能源有限公司には、間接的にPetroChinaが54.38%出資している。

## (3) 今後の戦略

2019年12月、ロシアと中国を結ぶPower of Siberia ガスパイプライン(東ルート)が稼働を開始した。本事業は2014年5月にCNPCとGazpromによって年間380億立方メートルの天然ガスを30年間供給する契約に基づいている。Power of Siberiaの稼働から2020年2月末までの3か月で8億4,000万立方メートルの天然ガスを同パイプラインで輸入している。

PetroChinaはバンカリング事業にも参入、事業拡大を検討している。2020年6月にPetroChina、深圳盐田港集团、深圳燃气集团の3社は中国南部の都市である深圳へ中国初となる国際船舶向けLNGバンカリング拠点を建設する協定を締結した。本拠点は年間23万トンをLNG船舶へ供給可能な能力を有し、将来的には年間200万トンまで設備を拡張する計画である。

さらに、LNGビジネスに関しては日本企業との連携も模索している。2019年2月、PetroChinaとJERAはLNGの共同販売・調達や新規需要の創出、LNGバンカリング等の事業に関する連携可能性について協議を行う覚書と締結した。

今後も中国国内の石油・ガス開発のみならず、他国企業との提携による事業拡大により、収益の拡大と事業の安定を目指す。